

平成 23 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	超低速ミュオン顕微鏡が拓く物質・生命・素粒子科学のフロンティア
領域代表者	鳥養 映子（山梨大学・医学工学総合研究部・教授）
研究期間	平成 23 年度～平成 27 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、超低速ミュオン・スペクトロスコーピーの基幹技術確立と、それを活用した新しいナノサイエンス創出を目指すものである。J-PARC の生み出す世界最大強度パルスミュオンビームのみが可能なものであり、高強度のミュオンビームにめどがついた時点での申請は、まさに時宜を得ており、J-PARC の戦略的活用法としても高く評価できる。深さ方向分解能 1nm を実現する我が国オリジナルの測定手法は、物性物理・化学といった物質科学から、電子工学、生命科学、素粒子物理まで、広い学術分野に波及効果をもたらし、国際的にも大きなインパクトを与えると期待される。</p>